

SPORTOP

PREMIER SERIES UPRIGHT BIKE FBU-900MHP II

取扱説明書



家庭用

この度は本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、ご使用前には必ずこの説明書をお読み下さい。
取扱説明書はお読みになったあとも大切に保管してください。

在日外国人の方はこの取扱説明書を通訳できる方から説明を受けてください。

For your safety and comfort. If you are alien who live in Japan, please ask someone who understand this manual to make detailed explanation for you.

もくじ

「安全におつかいいただくために」はご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

はじめに

安全におつかいいただくために	1~7
部品一覧表	8
組立方法	9~14

使用方法について

本体の移動について	15
表示パネルの使用方法について	16
モード設定方法について	17~19
トレーニングについて	20

トラブルシューティング

トラブルが起きたら・製品仕様について	21
--------------------	----



その他

保証書




安全におつかいいただくために

この度はアップライトバイク FBU-900MHP II をお買い求めいただきありがとうございました。

- ご使用の前にこの「安全におつかいいただくために」をよくお読みになり、この製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

図記号の例

	禁止の行為であることを告げるものです。
	警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な内容を近くに文章で示します。
	行為を強制したり指示したりする内容があることを告げるものです。

健康を害することを防ぐための注意事項

警告

- 本機は、健康維持・増進を目的とした製品であり、事前に医師に相談する必要がある場合、また身体に病気や障害のある方はトレーニングを始める前に必ず専門の医師にご相談してから使用してください。特に次の病気のある方は、必ず医師にご相談ください。心臓病（狭心症・心筋梗塞など）、高血圧症（降圧剤を服用中の方など）、糖尿病、呼吸器疾患（ぜんそく・慢性気管支炎など）、変形性関節リウマチ、痛風など）

注意

- ご年配の方や運動習慣のない方がご使用になる場合は、念のため専門の医師、またはスポーツトレーナーにご相談ください。
- 本機をリハビリテーションの目的に使用される場合は、危険防止のため必ず監督者の下で使用してください。
- ご使用前には、十分なストレッチやウォーミングアップを行って下さい。

お子様の事故や怪我を防ぐための注意事項

警告

- お子様が遊具として使用しないよう保護者の責任で注意してください。

注意

- 本機を使用している時にお子様を本機に近づけないでください。

設置上の注意事項

警告

- 防爆については、特に考慮して設計されていませんので、可燃性ガス等の発生する恐れのある環境での使用は、引火、火災、爆発の恐れがあるのでお止めください。
- 本機の改造は絶対にお止めください。

注意

- 本機は屋内での使用に限定し、屋外での使用はしないでください。また、水のかからない場所に設置・保管し、熱器具の近くや浴室の脱衣所等の湿気の多い場所への設置は避けてください。
さびが発生する恐れがありますので、注意してください。
- 湿度が多い、風通しが悪い、直射日光の当たる場所は避け、ほこり、塩分、硫黄分などにより、悪影響の生じる恐れのない場所に設置・保管してください。
- 平坦な床面に安定した状態で設置し、十分に動けるスペースをとって使用してください。
- 使用者がトレーニング中に他の器具等に触れないような場所、また運動動作領域を十分確保できる水平な床面上に設置してください。
- 本体の設置部のガタつきや、ハンドルとの接合部に異常がないか、固定ノブ等の緩みがないかを確認してください。
- 電気的な各接続部は、確実に接続されており、濡れたり、燃えやすい物が近くにあることを確認してください。
- 本機には重い部品や、鋭利な部分がありますので、成人が組み立ててください。組み立ての際には軍手等を着用してください。
- コード類を取り外す際は正しく持って取り外してください。

保管上の注意事項



(保管方法及び保管上の注意)

- 保管時は別の用途には使用しない様、特に子供が使用しないよう注意してください。
- 屋外や湿気の高いところへの保管は、さびの発生、電気部品等の不具合の原因となるため、避けて下さい。また、直射日光や高温の場所に保管しないでください。
- 本機の安全を維持するために日常点検や定期点検を実施してください。
- メンテナンス等で、カバーを外す場合は販売店にご相談ください。

(お手入れ上の注意)

- 汚れや使用後についた汗等は、石鹼水を含ませよく絞った布で拭き、その後乾いた布で拭いて下さい。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭いたりしないで下さい。
- 油の塗布及び注油は行わないでください。

使用上の注意事項

警告

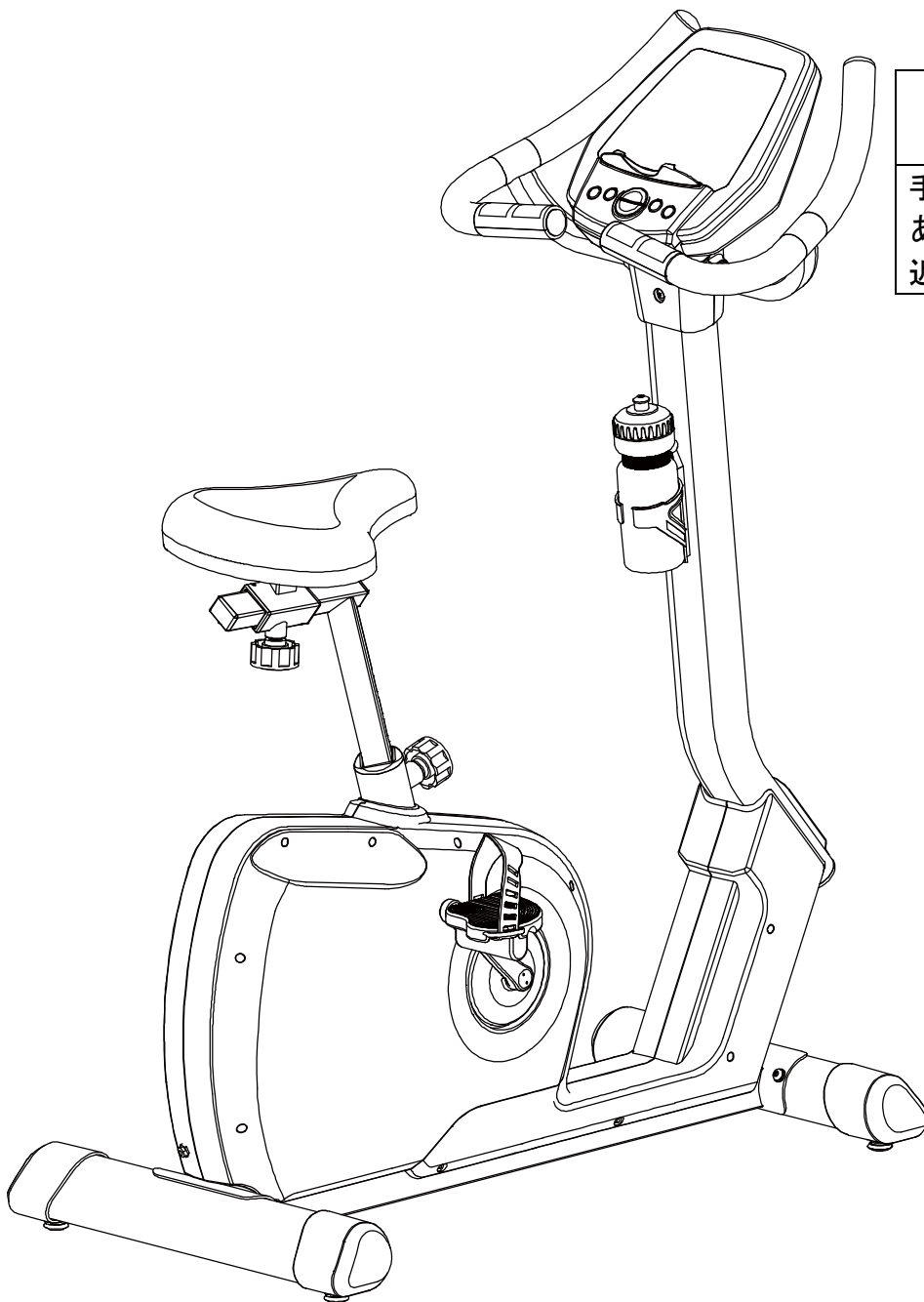
- トレーニングの際は運動に適したシューズ、ウェアを着用してください。回転、駆動部に巻き込まれる恐れがあるため、ひも類のない服装としてください。
- 操作者および使用者は、手や足、髪、装飾類衣服などをマシンの可動部分に近づけないでください。巻き込まれたり、挟まれたりする恐れがあります。
- トレーニング中に、目まいや吐き気、その他身体に変調を感じたら、ただちに使用を中止してください。

注意

- ご使用前に各部のボルト・ナットが完全に固定されているか、ゆるみやガタつきがないか確認してください。
- このマシンの使用体重制限は110kg以下です。
- 用途（所定の使用方法）以外の使用を行わないで下さい。
- 同時に2人以上での使用、後ろ向きでの走行、自分のレベルを超えた運動、飛び乗り、飛び降りは絶対にしないでください。
- ご使用の前に必ず本機の状況をチェックしてください。
- 本機、および他の器具等に使用者が触れることがないように注意してください。
- 本機の上に絡みやすいものを置いたり、操作パネルやハンドルバーにタオル等を掛けたりしてのご使用は、本体に巻き込まれる危険がありますのでお止め下さい。
- 乗降する場合等に、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品や使用者を押ししたり引いたりすると、安定性を損なうおそれがあるため、注意してください。
- 不具合が生じた場合には、ご購入元の販売店又は弊社に連絡し対処方法を確認してください。
- 本機の連続使用時間の目安は100分です。それ以上の使用は故障の原因となります。

警告

本機をリハビリテーションの目的に使用する場合、危険防止のため、必ず監督者の下で使用してください。
本機の走行動作中は事故防止のため、監督者以外を本機に近づけないでください。



警告

手や足、物が巻き込まれる危険がありますので、作動中は回転部に近づかないでください。

◎設置場所について

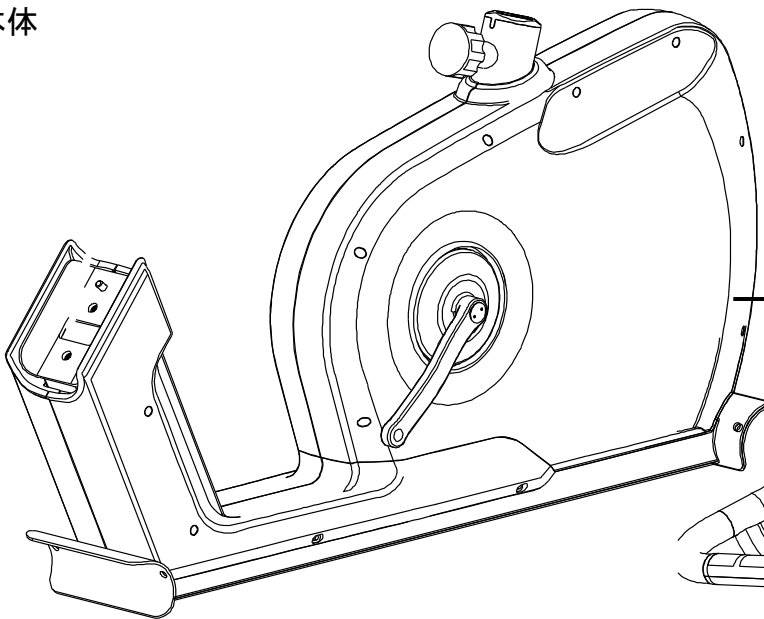
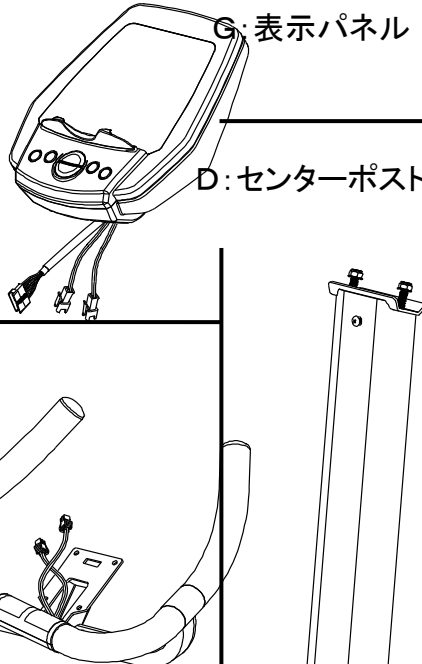
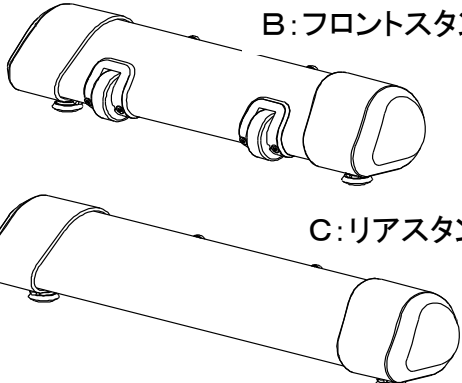
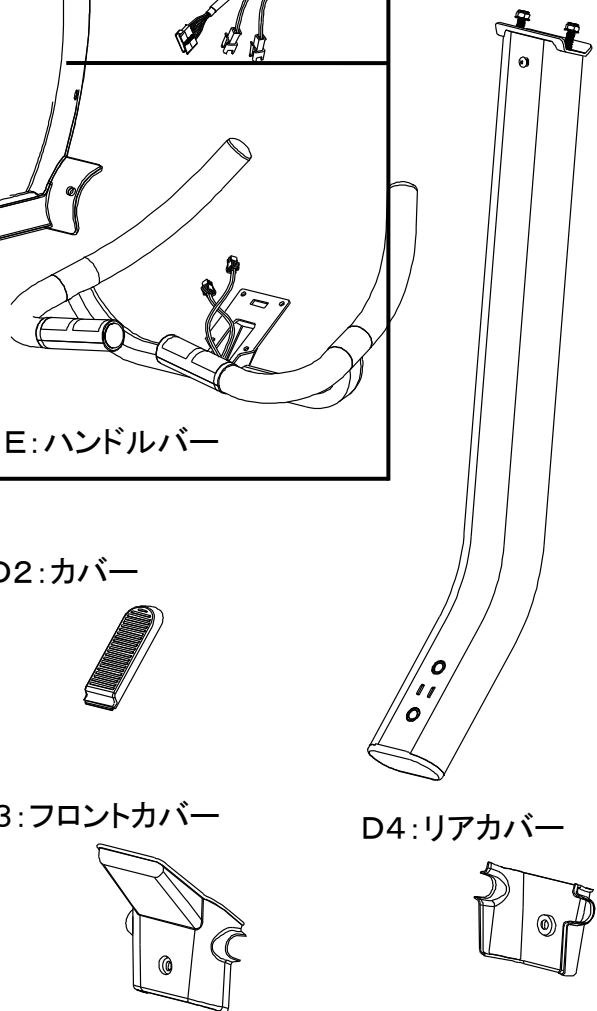
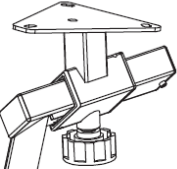
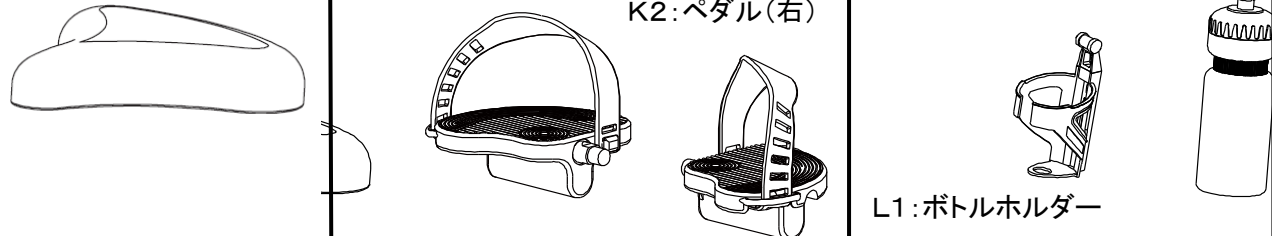

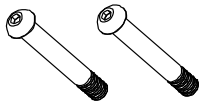

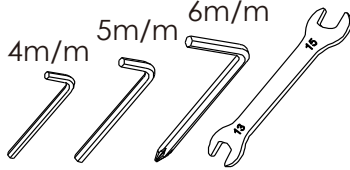
- (1) 本機の設置場所は使用者の安全を確保するために十分に広い場所を選びましょう。

なお、本機は液体の進入や可燃性ガスに対する防爆を考慮しておりませんので水のかからない、また可燃性物質のない場所で使用してください。

また環境条件として、室温、および湿度は四季を通じて、できる限り一定に保つようになっています。

- (2) 本機は重量がありますので、荷重に耐えうる水平な床面に設置してください。設置条件が悪い場合には共振による騒音、および振動等が発生したりしますので注意してください。

部品一覧表

<p>A: 本体</p> 	<p>G: 表示パネル</p> <p>D: センターポスト</p> 		
<p>B: フロントスタンド</p> <p>C: リアスタンド</p> 	<p>E: ハンドルバー</p> <p>D2: カバー</p> <p>D3: フロントカバー</p> <p>D4: リアカバー</p> 		
<p>F: サドルポスト サドル固定部</p> 	<p>H: サドル</p> <p>K1: ペダル(左)</p> <p>K2: ペダル(右)</p> <p>L1: ボトルホルダー</p> <p>L2: ウォーターボトル</p> 		
<p>ACアダプタ(100V)</p> 	<p>【J4】ボルト (M10*70mm)</p> 	<p>【J5】ワッシャー (M10mm)</p> 	<p>組立工具</p> <p>4m/m 5m/m 6m/m</p> 

組立方法（１）

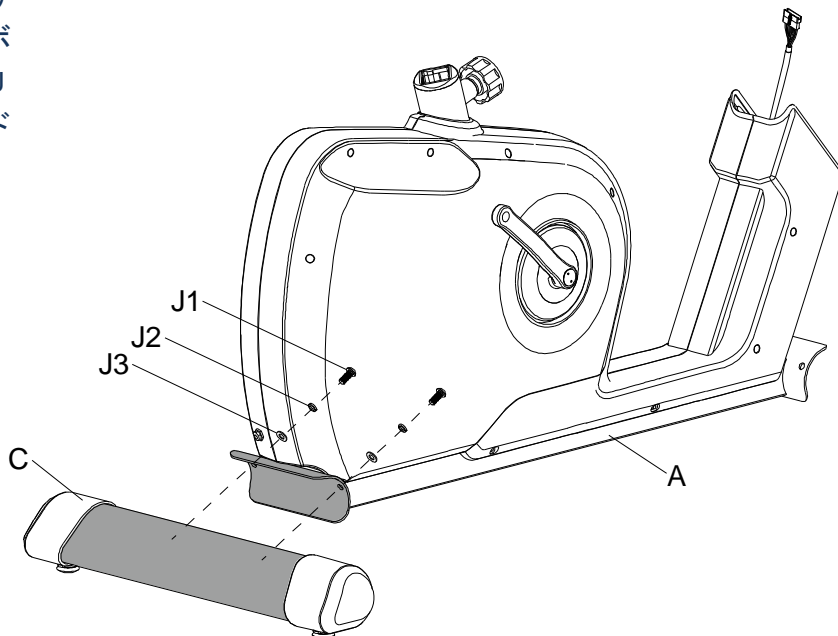
※組立をする前に全ての部品が入っているか、ご確認ください。

（手順１）

リアスタンドを取り付けます。

- ①リアスタンド（C）を本体（A）に取付けます。リアスタンドに仮止めされているボルト（J1）、スプリングワッシャー（J2）、ワッシャー（J3）でリアスタンド（C）と固定します。

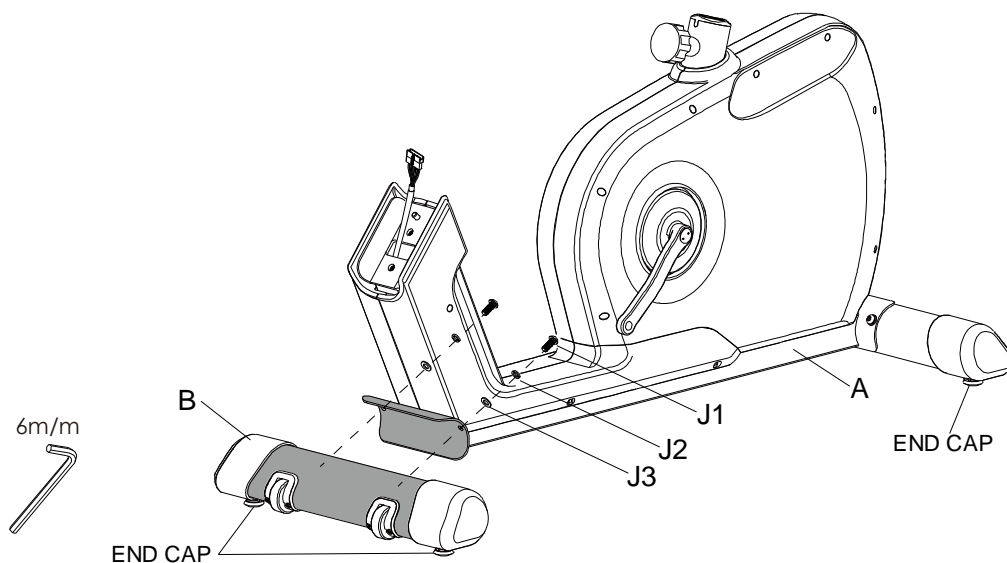
Tool Needed:



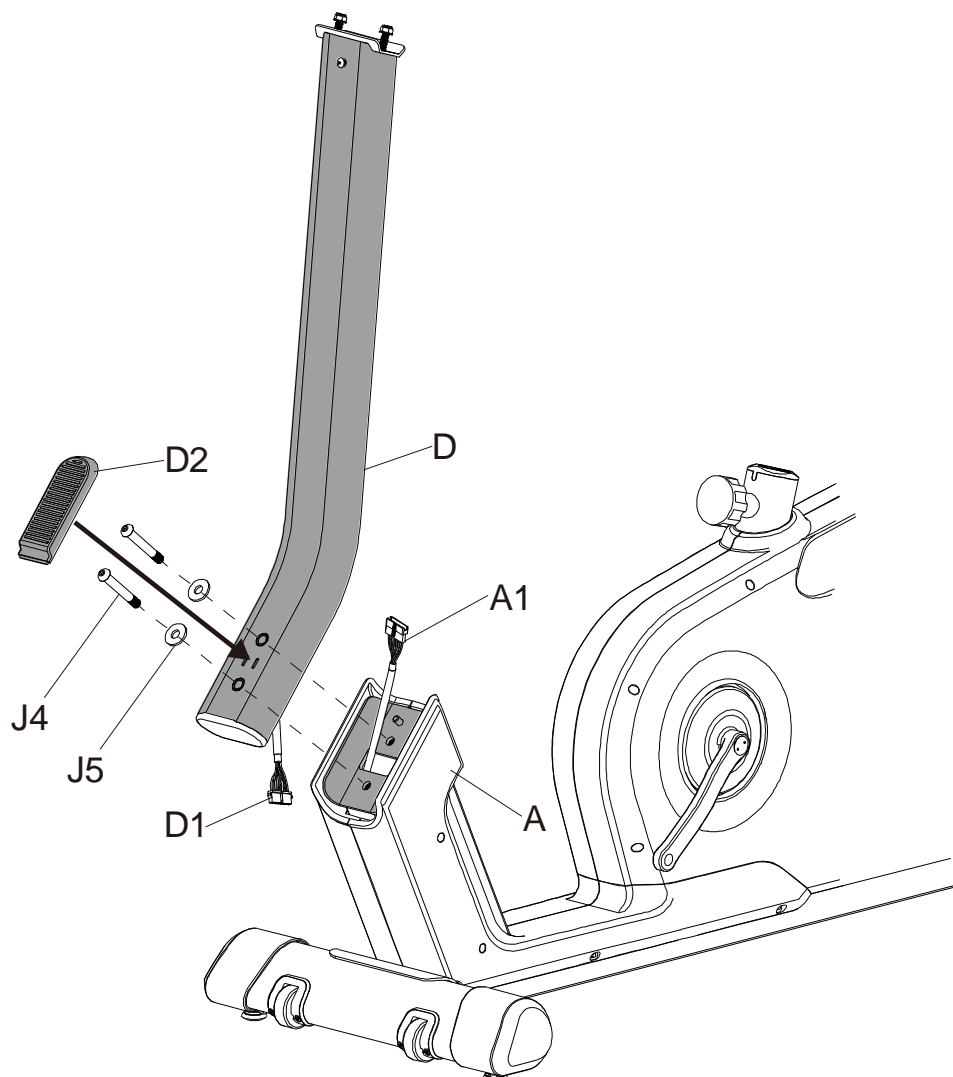
（手順２）

フロントスタンドを取り付けます。

- ①フロントスタンド（B）を本体（A）に取付けます。フロントスタンドに仮止めされているボルト（J1）、スプリングワッシャー（J2）、ワッシャー（J3）でフロントスタンド（B）と固定します。
- ②本体の水平調整をします。フロント・リアスタンドを取付けた後、本体がガタつく場合はフロントとリアスタンドの左右に付いている調整脚（END CAP）を回し、本体がガタつかないように調整します。



組立方法（2）

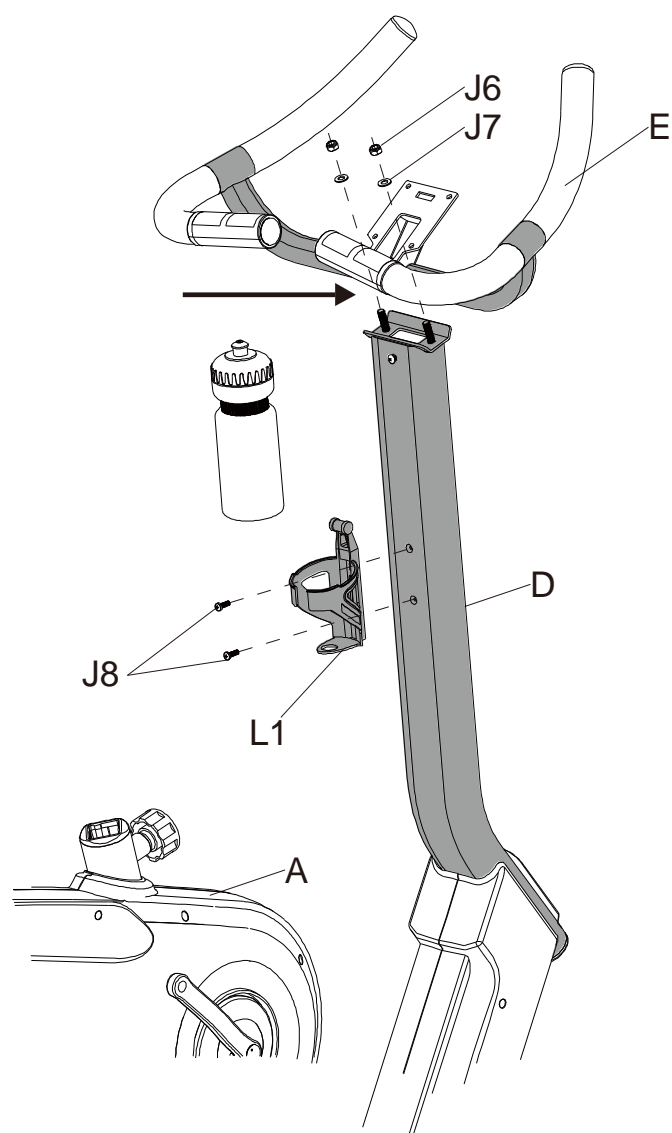


（手順3）

センターポストを取り付けます。

- ①センターポスト（D）を取り付ける前に、センサーコード（A1）をセンサーコード（D1）に接続します。
- ②次に、センターポスト（D）を本体（A）に合わせ、2ヶ所のネジ穴にボルト（J4）とワッシャー（J5）でしっかりと固定します。
※センターポストを本体に取り付ける時、コードを挟み込まないようにご注意ください。
- ③カバー（D2）のツメをセンターポスト（D）の穴に合わせる様に取り付けます。

組立方法（3）



（手順4）

ハンドルバーを取り付けます。

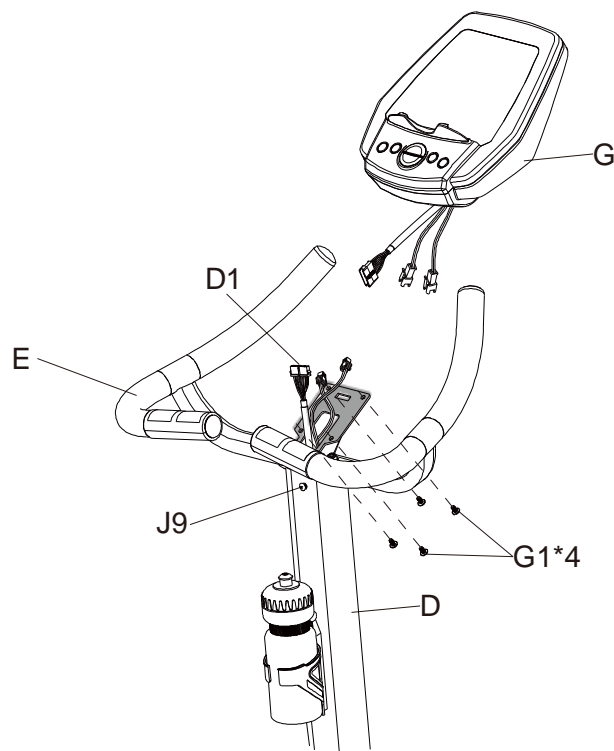
- ①センターポスト（D）に仮止めされているナット（J6）、ワッシャー（J7）を取り外し、ハンドルバー（E）をセンターポスト（D）取り付け箇所に合わせて取り付けます。
- ②センターポスト（D）の上部から出ているセンサーコード類をハンドルバー（E）の取り付け穴から上部へ通します。
- ③ナット（J6）とワッシャー（J7）でしっかりと固定します。
※この時センサーコード等を挟み込まないように注意して下さい。
- ④センターポスト（D）に仮止めされているネジ（J8）を使用し、ボトルホルダー（L1）を取り付けます。

組立方法（４）

（手順５）

表示パネルを取付けます。

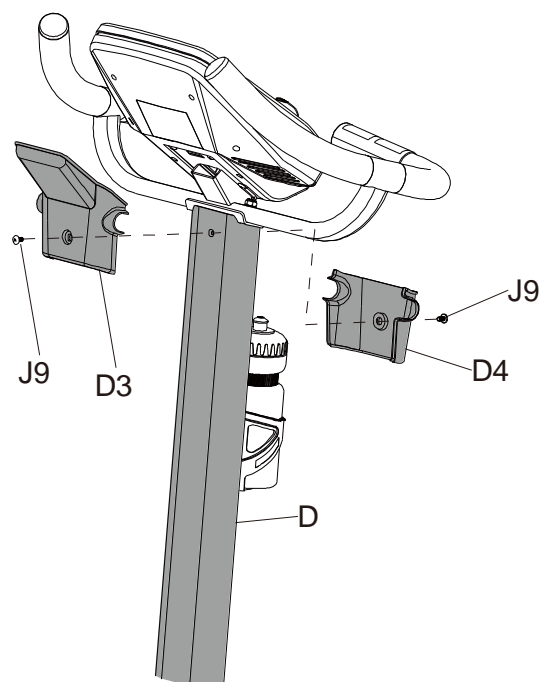
- ①表示パネル（G）裏側に仮止めされている４本のネジ（G 1）を取り外します。
- ②センターポスト（D）上部から出ている接続ケーブル（D 1）並びに２本のパルスセンサーケーブルを表示パネル（G）と接続します。
※パルスセンサーケーブルは左右どちらにつけても大丈夫です。
- ③接続したら表示パネル（G）をハンドルバー（E）の取り付けステーに合わせます。
この際、センサーコードを挟み込まないようゆっくりケーブルを表示パネル裏面の中に入れ込みながら表示パネルを合わせます。
- ④ネジ（G 1）４本で表示パネル（G）を固定させます。



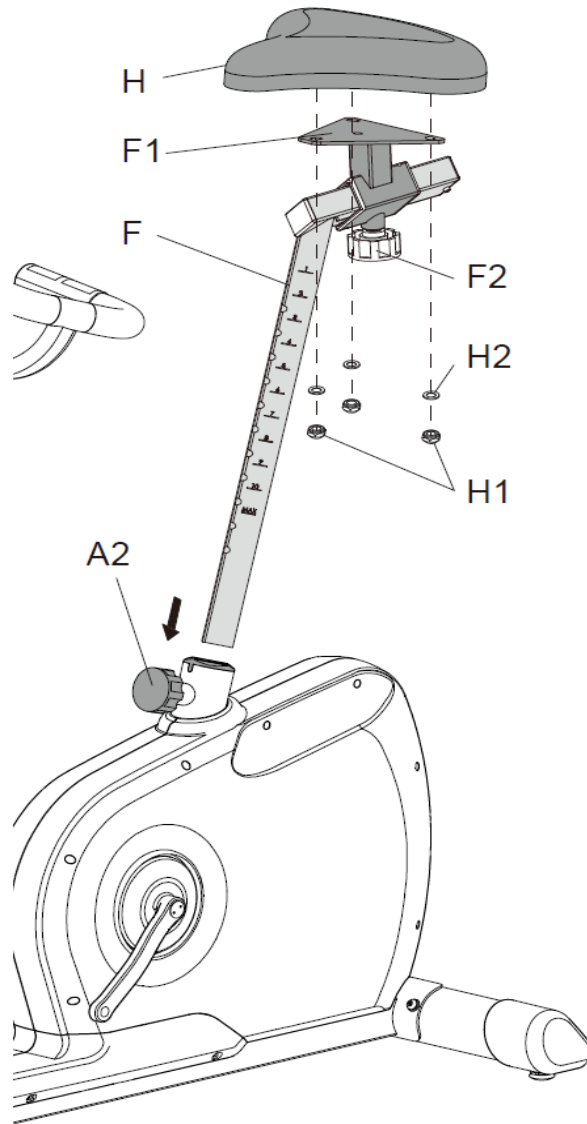
（手順６）

デコレーションカバーを取り付けます。

- ①まず、センターポスト（D）に仮止めされている２本のネジ（J 9）を取り外します。
- ②フロントデコレーションカバー（D 3）およびリアデコレーションカバー（D 4）をネジ（J 9）で取り付けます。



組立方法（5）

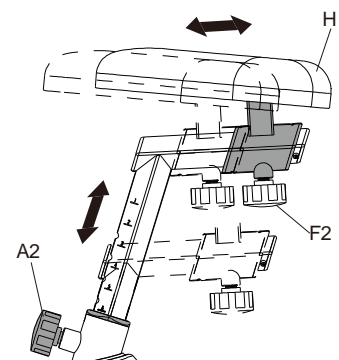


（手順7）

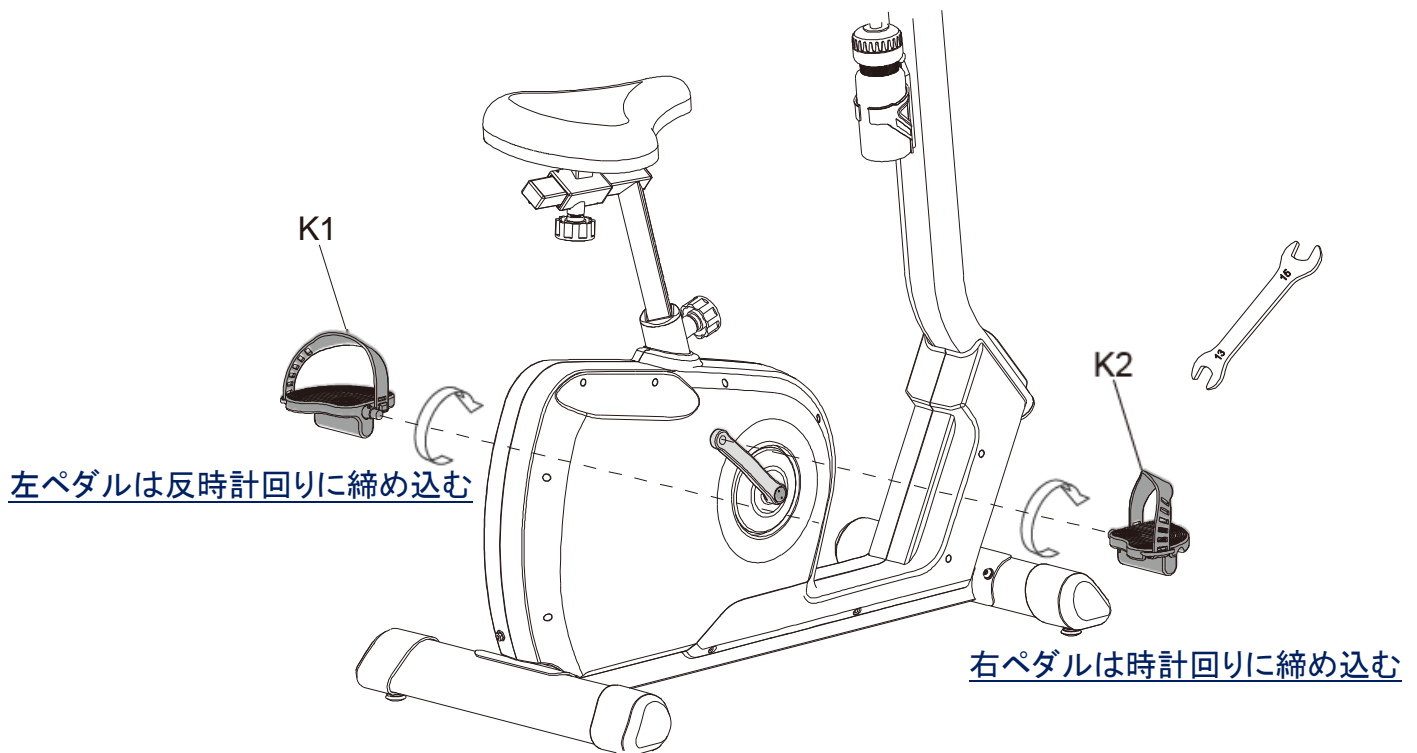
サドルを取り付けます。

- ① まずサドル（H）の裏に仮止めされているナット（H1）・ワッシャー（H2）を外します。
サドル固定部（F1）の穴にサドル裏に付いているボルトを差し込み、ナット（H1）・ワッシャー（H2）で固定します。この時サドルがまっすぐになるように取り付けて下さい。
- ② 本体（A）に付いている高さ調整ノブ（A2）を緩めて引っ張り、固定ピンを引っ込めてください。サドルポスト（F）を差し込み、お好みの高さでノブ（A2）を離すとピンで仮固定されます。
その後、ノブを締めてしっかりと固定してください。

お好みの高さ、サドル位置の前後を調整して下さい。
調整した後は必ずノブを締め込んで下さい。



組立方法（6）



（手順8）

ペダルを取り付けます。

①左右のペダル（K1、K2）を本体クランクに取付けます。ペダルはバイクの進行方向に対して締め込みますので、左ペダルは左回し（逆ネジ）反時計回り、右ペダルは右回しの時計回りでクランクにねじ込みます。

※ペダルの裏側と軸やペダルストラップに、左は（L）、右は（R）の刻印がありますので間違えないように確認してください。

ペダルを取付ける時は、最初は指でペダルのネジ山の付け根を持って、ネジ穴にまっすぐに合わせ2～3回転ねじ込みます。その後、付属の工具でしっかりと固定してください。

※締め付けが弱いと運動中にペダル部より“コンコン”異音が発生する場合があります。

※ネジ山が合っていないまま締めつけると、ネジ山が壊れますのでご注意ください。

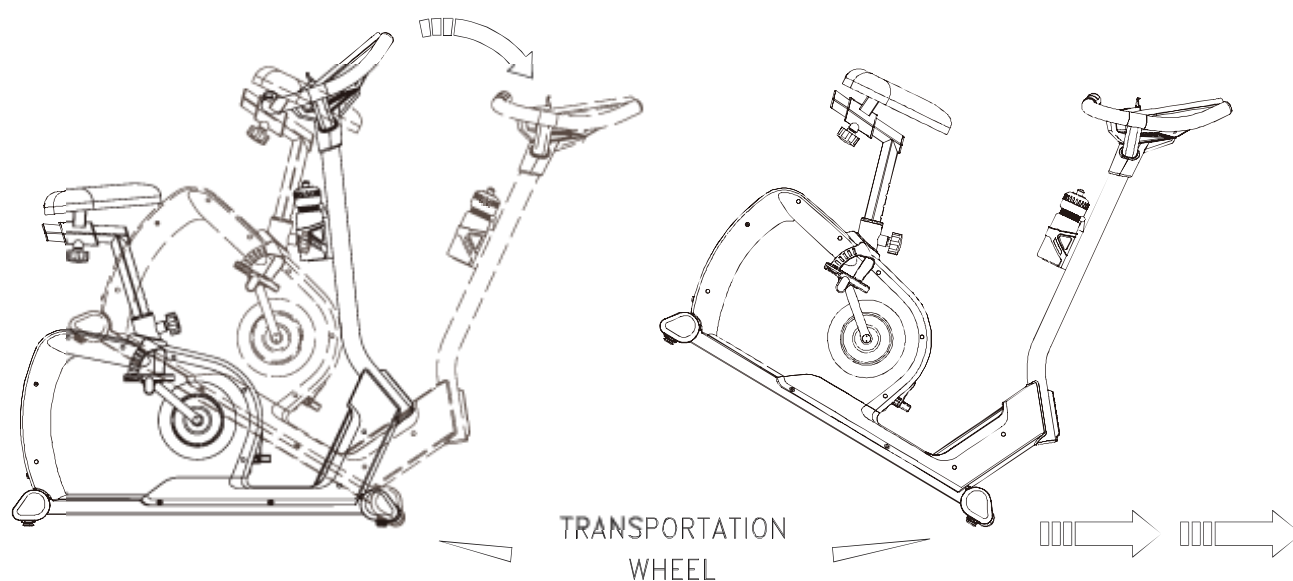
電源の接続と本体の移動について

電源の接続

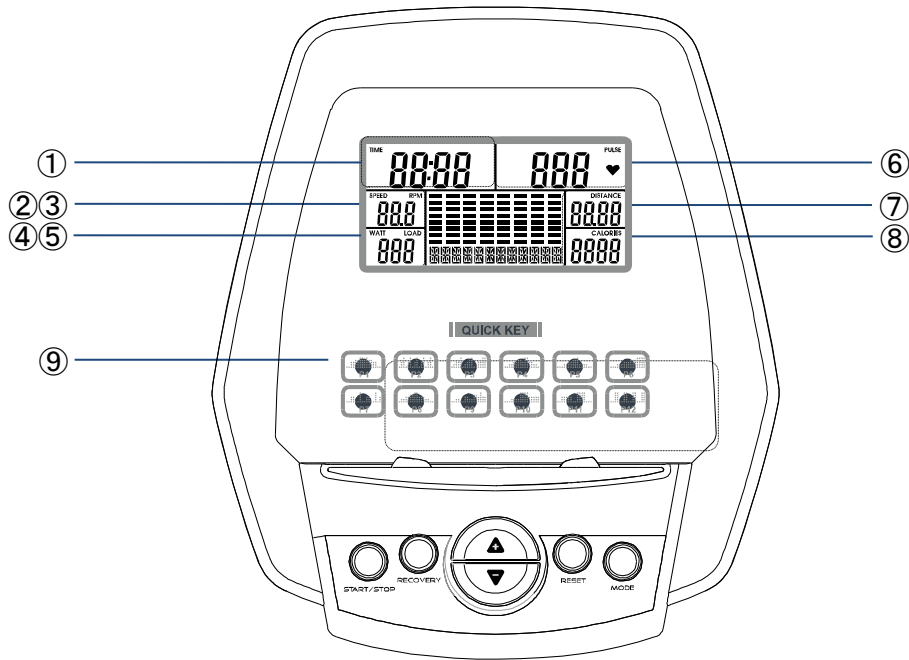
ACアダプタを本体後方下部にあるACアダプタ差し込みジャック受部に差し込みます。
次に、ACアダプタをご家庭の100Vコンセントへ差し込むと表示パネルの電源が入り、画面が点灯します。

本体の移動

フロントスタンドには移動用のキャスター(TRANSPORTATION WHEEL)が組み込まれています。
本体を移動する時は図のようにハンドルバーを押し下げて移動します。



表示パネルの使用方法について



ボタンについて

スタート/ストップ

(START/STOP) トレーニングを開始、停止します。

リカバリー (RECOVERY) リカバリー (体力評価) 時に使用します。(P. 19 参照)

モード (MODE) 各項目の切り替え時に使用します。

リセット (RESET) 設定を初期状態へ戻します。

2 秒間長押しで表示パネルを再起動します。

アップ (+) 負荷の増加または、各目標数設定時に目標値の数値が増えます。

ダウン (-) 負荷の減少または、各目標数設定時に目標値の数値が減ります。

各表示について

① 時間 (TIME) : 運動時間を表示します。

表示範囲=00分00秒~99分59秒

設定範囲=00分00秒~99分00秒

② 速度 (SPEED) : 運動中のスピードを表示します。(単位=km/h)

③ 回転数 (RPM) : 1 分間あたりのペダルの回転数を表示します。(単位=RPM)

④ 負荷レベル (LOAD) : 負荷レベルを表示します。表示範囲=1~16 レベル

⑤ ワット (WATT) : 運動量を表示します。

⑥ 脈拍数 (PULSE) : ハートレートグリップを握ることにより、脈拍数が表示されます。

脈拍を測定していない時は「P」が表示されます。

⑦ 距離 (DISTANCE) : 走行距離を表示します。(単位=km)、表示範囲=0.00km~99.50km

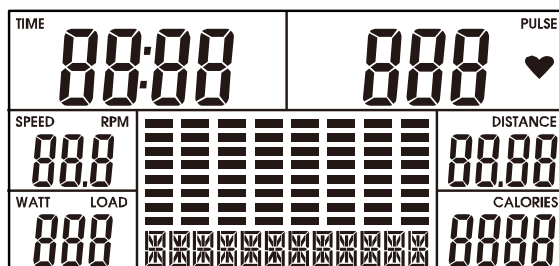
⑧ 消費カロリー (CALORIES) : 消費カロリーを表示します。(単位=kcal) 表示範囲=0~9990kcal

⑨ クイックキー : P1~P12の各プログラムを設定します。

※上記の項目は全て換算推定値であり、目安程度としてご活用ください。

モード設定方法について（1）

○電源投入時について

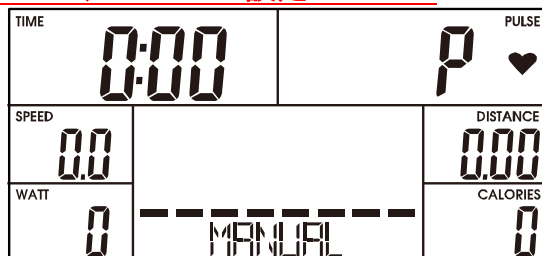


・電源投入またはリセット直後、ディスプレイが全画面表示されますが異常ではありません。

○ユーザー選択・設定について

- ① 電源投入後またはリセット状態にした後に、アップまたはダウン（+、-）ボタンでユーザーを選択します。（U1～U4）
※リセットボタンを2秒間長押しでリセット状態（ユーザー選択前の状態）になります。
- ② モード（MODE）ボタンで決定します。
- ③ 性別（SEX）を設定します。（MALE＝男性、FEMALE＝女性）
- ④ 年齢（AGE）を設定します。（設定範囲：1～99）
- ⑤ 身長（HEIGHT）を設定します。（設定範囲：100～200〔cm〕）
- ⑥ 体重（WEIGHT）を設定します。（設定範囲：20～150〔kg〕）
※ユーザーは4人まで設定でき、ユーザー毎にプログラムのデータなどが保管されます。
- ⑦ 決定後、モード選択になります。

○マニュアル（MANUAL）モードの設定について



- ① ユーザーを選択します。（U1～U4）※リセットボタンを2秒間長押しでリセット状態になります。選択したユーザーの設定された数値（性別・年齢・身長・体重）が表示されますので変更があればアップまたはダウン（+、-）ボタンで訂正できます。変更がなければ、モード（MODE）ボタンで決定し進んでください。
- ② アップまたはダウン（+、-）ボタンで設定項目を選択し、マニュアル（MANUAL）の部分でランプが点灯するようにします。
（MANUAL→PROGRAM→USER→HRC→WATT の順番で周回します。）
- ③ モード（MODE）ボタンで決定します。
- ④ 運動時間を設定します。（TIME） 設定範囲＝00：00～99：00（分）
- ⑤ 距離を設定します。（DISTANCE） 設定範囲＝0.00～99.90（km）
- ⑥ カロリーを設定します。（CALORIES） 設定範囲＝0～9990（kcal）
- ⑦ 脈拍数を設定します。（PULSE） 設定範囲＝30～230（BPM）
- ⑧ 設定後、スタート／ストップ（START／STOP）ボタンで開始または停止します。

※④～⑦はいずれか一項目の設定だけでもスタートできます。

モード設定方法について（2）

○プログラム（PROGRAM）モードの設定について

- ① ユーザーを選択します。（U1～U4）※リセットボタンを2秒間長押しでリセット状態になります。選択したユーザーの設定された数値（性別・年齢・身長・体重）が表示されますので変更があればアップまたはダウン（+、-）ボタンで訂正できます。変更がなければ、モード（MODE）ボタンで決定し進んでください。
- ② アップまたはダウン（+、-）ボタン、もしくはP1～P12のクイックキーを押してお好みのプログラムを選び、（MODE）で決定します。
- ③ 目標値：時間（TIME）を設定します。
- ④ 設定後、スタート/ストップ（START/STOP）ボタンで開始または停止します。

○ユーザープログラム（USER PROGRAM）モードの設定について

任意でトレーニンググラフの作成ができます。

- ① ユーザーを選択します。（U1～U4）※リセットボタンを2秒間長押しでリセット状態になります。選択したユーザーの設定された数値（性別・年齢・身長・体重）が表示されますので変更があればアップまたはダウン（+、-）ボタンで訂正できます。変更がなければ、モード（MODE）ボタンで決定し進んでください。
- ② アップまたはダウン（+、-）ボタンで設定項目を選択し、ユーザープログラム（USER PROGRAM）の部分でランプが点灯するようにし、モード（MODE）ボタンで決定します。
- ③ 負荷（LOAD）を設定します。ディスプレイ部の列が点滅します。アップまたはダウン（+、-）で選択し（MODE）で決定すると、次の列が点滅します。最後まで繰り返しトレーニングのグラフを作成します。（MODE）を2秒間長押しで、目標値：時間（TIME）を追加設定できます。
- ④ 設定後、スタート/ストップ（START/STOP）ボタンで開始または停止します。

○脈拍数（HRC）モードの設定について

- ① ユーザーを選択します。（U1～U4）※リセットボタンを2秒間長押しでリセット状態になります。選択したユーザーの設定された数値（性別・年齢・身長・体重）が表示されますので変更があればアップまたはダウン（+、-）ボタンで訂正できます。変更がなければ、モード（MODE）ボタンで決定し進んでください。
- ② アップまたはダウン（+、-）ボタンで設定項目を選択し、脈拍数（HRC）の部分でランプが点灯するようにし、モード（MODE）ボタンで決定します。
- ③ 脈拍数を設定します。

ターゲット（TARGET）・・・お好みの脈拍数を設定。

「H. R. C TRG」点滅時にモード（MODE）ボタンで選択、アップまたはダウン（+、-）ボタンで数値を設定しモード（MODE）ボタンで決定

90%、75%、55%・・・ユーザーの情報から最大脈拍数のそれぞれの割合を計算し自動で設定します。

「H. R. C 90」、「H. R. C 75」、「H. R. C 55」をアップまたはダウン（+、-）ボタンで選択、モード（MODE）ボタンで決定

- ④ 目標値：時間（TIME）を設定します。
- ⑤ 設定後、スタート/ストップ（START/STOP）ボタンで開始します。

※走行時、設定脈拍数を超えると脈拍数のディスプレイが点滅、そのままの状態ですばらくするとプログラムが自動停止します。停止した場合スタートボタンで再開できます。

モード設定方法について（3）

○運動量（WATT）モードの設定について

- ⑨ ユーザーを選択します。（U1～U4 ※リセットボタンを2秒間長押しでリセット状態になります。選択したユーザーの設定された数値（性別・年齢・身長・体重）が表示されますので変更があればアップまたはダウン（+、-）ボタンで訂正できます。変更がなければ、モード（MODE）ボタンで決定し進んでください。
 - ① アップまたはダウン（+、-）ボタンで設定項目（WATT）を選択します。
 - ② 運動量の初期設定値は120です。アップまたはダウン（+、-）ボタンで数値を変更することができます。（数値は±5ずつ設定できます。設定範囲＝10～350）
 - ③ 目標値：時間（TIME）を設定します。
 - ④ 設定後、スタート/ストップ（START/STOP）ボタンで開始または停止します。
 - ⑤ 負荷レベルはユーザーの運動量に応じて自動的に変化します。
- ※設定運動量を超える運動をすると、アラームが鳴ります。

○リカバリー（体力評価）について

リカバリーによるトレーニング直後と回復後の脈拍数を比較することは、運動能力及び回復力を手軽に判定するのに有効な手段です。運動を定期的に継続していくと評価が向上します。

- ① 運動終了する際にハートレートグリップを握り、脈拍数を表示させます。表示値が出たら、リカバリー（RECOVERY）ボタンを押します。
- ② コンピューターが60秒間脈拍数を測定しますので、ハートレートグリップを握ったまま、静かにお待ちください。この間、時間は60秒をカウントダウン表示されます。
- ③ 運動終了後すぐの脈拍数と、60秒後の脈拍数を比較し脈拍数の回復力を[F1]～[F6]で評価し、表示します。回復能力は[F1]が最も優れ、[F6]が最も劣ります。
- ④ 表示を確認されましたら、もう一度、リカバリーボタンを押すと、元の画面に戻ります。

運動直後と回復後の脈拍数を比較することは、運動能力を手軽に判定する有効な方法です。

リカバリー（体力評価）は、トレーニングを行った後の1分間のクールダウンでどこまで安静時の脈拍数に近づくことができるかを評価する手段となります。

運動を定期的に継続していくと評価が向上します。

トレーニングについて

運動の目的・効果を正しく理解して、健康で快適なトレーニングを始めましょう。

運動には無酸素運動(アネロビクス)と有酸素運動(エアロビクス)があります。

無酸素運動は短距離走や重量上げなど瞬発力や短い時間に大きな力が要求される運動で、筋力がアップします。一方、有酸素運動は自転車・ジョギング・水泳など全身の持久力が主体で、酸素を体内にどんどん取り入れることで、循環器・呼吸器機能が向上し、健康の維持に大きな効果があります。

また、15分以上の運動を継続することで、脂肪燃焼が促進されダイエットに効果的です。

【目的】

- ①体力の維持・向上
- ②精神的ストレスの解消
- ③肥満解消・シェイプアップ

(目的別トレーニングの目安)

目的	項目	内容
①健康増進トレーニング	運動の頻度	1週間に3~5回以上 / 1回20~30分程度
	目標運動強度	推定最大脈拍数の60~75%となるように運動する
②肥満対策トレーニング	運動の頻度	1週間に3~7回以上 / 1回20~60分程度
	目標運動強度	推定最大脈拍数の55~70%となるように運動する
③心肺機能強化トレーニング	運動の頻度	1週間に3~5回以上 / 1回20~60分程度
	目標運動強度	推定最大脈拍数の70~85%となるように運動する

$$\text{推定最大脈拍数} = 220 - \text{年齢}$$

上記の表より、目的にあった運動を選択し、「運動の頻度」と「目標運動強度」の条件を満たすように運動してください。

上記は一般的なトレーニングの目安です。運動する人の健康状態・体力・運動経験などにより個人差があります。健康状態やその日の体調に合わせて、無理をせずマイペースで行ってください。また、運動の前後には十分なウォーミングアップとクールダウン(ストレッチングなど)を行いましょう。

トラブルが起きたら・製品仕様について

ご使用中に異常が発生した場合は、まず次の点をチェックしてください。
それでもトラブルが解消されなければ、お求めの販売店・代理店までご連絡ください。

トラブル内容	対処方法	手順参照
●電源 ON にならない (表示がない・カウントしない)	パネルへのコードをしっかりと差込んでください。	P.10—手順 3、 P.12—手順 5 参照
●脈拍数が測定できない	パルスセンサーケーブルの接続を確認して下さい。	P.12—手順 5 参照
	ハートレートグリップを両手でしっかりと握って下さい。 手を水等で湿らせてみてください。	
●脈拍数が異常に増加する	ハートレートグリップを握っている間は、激しく手や体を動かさないでください。正しく測定できません。	

製品仕様について

製品の仕様および外観などは改良のために、予告なしに変更することがあります。

品名	SPORTOPアップライトバイク
品番	FBU-900MHP II
形式	マグネット負荷方式バイク(モーターコントロール)
カラー	メタリックグレー×ブラック
負荷方式	マグネット負荷方式(モーターコントロール16段階調整)
本体サイズ	1070(L) × 580(W) × 1350(H)mm
材質	スチール鋼管、ABS/PP/PU樹脂
使用電源	AC100V
使用体重制限	120kg
本体重量	44.2kg
使用室内環境	温度:6°C~40°C 湿度:80%以下
原産国	台湾

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製 品 名	S P O R T O P ア ッ プ ラ イ ト バ イ ク
製 品 番 号	F B U - 9 0 0 M H P Ⅱ

お買い上げ日： 年 月 日

保証期間はお買い上げの日から1年です。 **※業務用としての使用は6ヶ月の保証となります。**

お名前

ご住所

電話番号

ご購入後、ご記入願います。ご記入のない場合、保証が受けられない場合があります。

- 取扱説明書の注意に従った正常な使用環境と使用状況で、万一品質上の不具合が発生した場合において、消耗品を除き、納入後1年間を原則として販売店が保証修理致します。
- 保証修理は補修または部品の交換により実施し、これにより取り外された不具合部品は株式会社フジモリの所有物となります。
- 出張修理の場合は、出張費を請求する場合がありますので予めご相談下さい。
- 保証修理をお受けになる場合には、製品保証書の提示が必要となります。
- 保証期間内においても、保証書の提示がない場合は、無償修理の対象になりませんので保証書は大切に保存して下さい。
- 保証期間内であっても、次の場合は有償にての修理となります。
 - 誤用、乱用及び取扱の不注意によるもの
 - 弊社が認めた技術者以外によって修理や改造をしたとき。
 - 火災、水害、地震、落雷及びその他の災害、戦乱、争乱によるもの。
 - 部品の通常の摩耗、又は、経年劣化
 - 運送途中、備え付け時と使用時に生じた傷、色の退色、及び外見上の変化。
 - 機能に影響のない感覚的現象（音、振動など）
- その他の保証対象免責事項
 - 運送、販売の作業によって引き起こされた費用（備え付け、除去にかかる費用）
 - 取扱説明書の遵守に従わない使用によって起きたあらゆる損害。
 - 保証期間内中でも使用できなかった事による期間損失等の費用。
- 当社の全責任は、全ての環境下で本体の出荷価格を超えることはありません。なお、製造物責任法にかかる係争については、富山地方裁判所高岡支部を第1審裁判所と致します。
- 製品は日本国内の屋内施設の使用に限定し、この保証規定は日本国内の使用に限り有効です。

販売店



— Fitness & Bicycle —

株式会社フジモリ

〒933-0831 富山県高岡市若富町 186

TEL.0766-21-0958 FAX.0766-21-0957